



# カイゼン★ニュース

2021.3 編集/発行 都市戦略本部 行財政改革推進部

No. 4

## テレワークに関連する制度・システムを紹介します

これまで、「働き方見直しプロジェクトチーム」では、職員の働き方改革として、会議録作成支援システムやRPAの導入など、ICTを活用した制度・システムの導入・拡充を推進してきました。

今回のカイゼンニュースでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、今年度積極的に導入・拡充が行われたテレワークやオンライン会議・研修に関連する制度・システムについて、紹介します。

## I 制度・システムの一覧

### 【テレワーク】

制度	所管課
在宅勤務（モバイル端末・特例在宅勤務）	人事課
サテライトオフィス	行財政改革推進部
モバイルワーク	情報政策部 情報システム担当



### 【オンライン会議・研修】

システム	所管課
テレビ会議用タブレット	情報政策部 ICT政策担当
テレビ会議システム	情報政策部 情報システム担当



## II 各制度・システムの紹介



### 在宅勤務（モバイル端末）



概要：専用端末を借り受け、自宅で勤務するもの。LTE回線を使用し、庁内イントラネットが利用できるため、自席とほぼ同様の業務が可能。

貸出機器：専用のノートパソコン（15.6インチ）、マウス、電源コード、USB型データ通信端末、バッグ

利用方法：所属長へ勤務の申請後、端末管理課から端末を借用。

## サテライトオフィス

概要：情報端末を設置した会議室等で勤務するもの。庁内イントラネットが利用できるため、自席とほぼ同様の業務が可能。

使用機器：情報端末

設置場所：本庁舎、職員研修センター、教育研究所、子ども家庭総合センター（R3.3時点）

利用方法：所属長への勤務の申請と使用端末の予約後、施設の利用受付簿へ記入。



## テレビ会議用タブレット



概要：テレビ会議アプリがインストールされているタブレットを借り受け、オンラインで会議・研修等が可能。

貸出機器：専用のタブレット、ワイヤレスヘッドセット、充電用ACアダプタ

利用方法：使用端末の予約後、機器配置課からタブレットを借用。

## テレビ会議システム

概要：自席の情報端末にカメラやヘッドセット等を接続することで、オンラインで庁内のテレビ会議・研修等が可能。

貸出機器：Webカメラ、ヘッドセット、スピーカーフォン、LANケーブル

利用方法：IDの払出申請後にシステムからスケジュールを予約し、機器配置課から機器を借用。



テレワークは、職場の3密回避だけでなく、通勤・移動時間の短縮や、ワーク・ライフ・バランスの向上などにも効果があります。ぜひ、みなさんも積極的に利用してみましょう！

